

2015年10月6日

NPO 法人 全国万引犯罪防止機構 事務局

・・・盗難情報データベース構築委員会企画・・・

常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミットの概要

＜本国際会議開催のいきさつ＞

盗難情報データベース構築委員会は、当機構会員団体である CDVJ（日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合）が、中小企業庁から補助金を得て、平成 27 年度の万防機構のプロジェクトとして推進するもので、来年 1 月までに 5 回開催する予定され、下記の＜調査項目＞やその仕組み作りに向けた検討が行われます。なお、第 1 回盗難情報データベース構築委員会が 7 月 15 日（水）スクワール麹町・会議室にて開催され、法学系の有識者、出版関係の産業団体、書店各社、警備業団体、CDVJ 事務局、当機構関係者など総勢 21 名が参加し、3 時間を超えるものとなりました。

その中で防犯先進国の米国の常習万引・集団窃盗対策を知る必要があるのではないかと
いう意見があり、米国の eBay 社や Tyco 社に調査協力を依頼したところ、急遽日米の関係
者が集う常習万引・集団窃盗未然防止 国際サミットの開催が決定したしだいです。

＜調査項目＞

1. 盗難情報データベース（情報の収集・分析、被害情報提供）の現状
2. 防犯画像利用（顔画像含む）に向けての利活用方法やガイドラインについて
3. ネット市場への盗品流出阻止に向けての個体認証付与方法の推進状況
4. ネット管理者や利用者への盗品情報の提供の仕組み

その他、東京万引き防止官民合同会議よりの調査依頼項目（予定）

＜アジェンダー＞

内容を検討中

＜日程案＞

会議開催日は 10 月 26 日（月）と 10 月 27 日（火）

＜場 所＞

Tyco Retail Solutions 本部（フロリダ・ボカラトン）Tyco は世界最大セキュリティ会社

＜委員会参加者＞

8 名ほど

メンバーの内訳は、関係法令の有識者、小売業のセキュリティ部長、警備の専門家、機器の専門家、警察 OB、事務局など

＜米国側参加者＞

20 名ほど

ネット通販の大手企業 2 名、大手ドラッグストアチェーン 3 名、大手スーパー 1 名、大手百貨店 1 名、大手カジュアルチェーン 1 名、学識経験者、米國小売業リーダー協会、顔認証メーカー、連邦政府タスクフォース、一般消費財メーカー： 商標保護リーダーなど

＜報告会と報告書の発表＞

3 月のセキュリティショーの中で特別セミナー開催（3 月 11 日 10 時～12 時半）の予定。
会場はビックサイト会議塔の大会議室。

＜会議への質問用紙＞

こんなことを質問してほしいということがありましたら、別紙にお書きいただき事務局にメールをお願いします。

以上